

自社診断ツール クイックガイド

自社診断ツールは、IT 業界内における自社の長時間労働対策への取組状況の把握や、自社内での取組状況の部署別・プロジェクト別等での比較に活用出来ます。長時間労働の是正に向けて、これから何か取組を始めようと思っている方、何かから取り組むべきか悩んでいる方、自社内の取組の推進度合いを比較したい方等に向け、今後具体的な施策実施内容を検討するための一助にご活用いただければ幸いです。以下に当サイトがおすすめする自社診断ツールのご利用方法をご案内いたします。

STEP 1

本サイト上から自社診断ツールをダウンロードします。

自社診断ツールの活用

自社診断ツールは、下記リンクからダウンロードしてご利用出来ます。
 (ファイル名：「経営方針や戦略に関する長時間労働対策」 自社診断ツール(フォーム形式)「Ech」プロテクトデータ保護：190620)
 保護期間は有効期限が経過するまでです。一部の機能のみは有効な場合があります。

「自社診断ツール」
ダウンロード

また、自社診断ツールを活用いただくための基本的な使用方法もまとめた、「自社診断ツールの使用方法」ページと、「平成30年度業界別と業種別の長時間労働対策」の一環として、本ツールを無料でご利用いただける「長時間労働対策実践事例」ページもご用意しました。是非ご覧ください。

ここからダウンロード出来ます。

STEP 2

自社診断ツールを開き、業界内で自社が参考としたい分類や企業のレベルに応じた比較対象を選びます。

比較対象: **IT業界** の **全体** 平均

分類: IT業界 / 受託型 / 組込み型 / プロダクト型 / 大企業 / 中小企業 / 元請 / 下請

経営方針やビジョン: ④ 良好な取引関係や円滑な業務遂行が期待できる顧客、Ster、パートナー企業などとなる、相互利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置

▶参考としたい分類
IT業界 / 受託型・組込み型・プロダクト型 / 大企業・中小企業 / 元請・下請

▶企業のレベル
全体 / 優良企業

※「優良企業」は、IT業界、受託型、中小企業の場合のみ選択可能

STEP 3

長時間労働是正に向けた各施策に対する自社の取組の積極度合いを6つの選択肢から選びます。

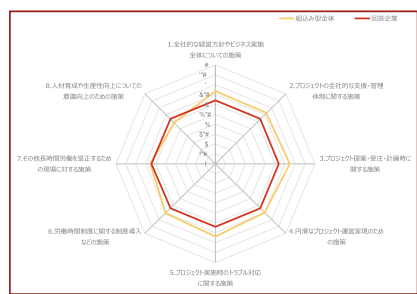
施策	企業回答欄
明確な位置付け	5: 積極的である
社長の経営者自らによる、長時間労働削減についてのメッセージ発信	4: やや積極的である
社長→プログラク(型等)	3: あまり積極的ではない
顧客・ユーザーごとの見極め、取引先の取捨選択	2: 積極的ではない
利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置	1: 取り組んでいない
円滑な業務遂行が期待できる顧客、Ster、パートナー企業などとなる、相互利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置	0: 業務またはビジネス上該当しない
大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・簡素化	
大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・簡素化	
開発するソフトウェアに応じた開発手法(ウォーターフォール/アジャイル等)の選択	

5. 積極的である
4. やや積極的である
3. あまり積極的ではない
2. 積極的ではない
1. 取り組んでいない
0. 業務またはビジネス上該当しない

※計80施策ありますが、比較したい分類のみご回答いただくことも可能です。例えば、人事担当者であれば人事関連施策のみの回答でも、業界内での施策への取組の推進度合いを比較出来ます。

他社比較

長時間労働は正への取組状況について、施策分類別8つの要因ごとに自社の強みと改善点を把握出来ます。また、各施策への取組に対する積極度合いを、比較対象の企業群と比較出来ます。



レーダーチャート
8つの要因ごとに自社と比較対象の取組状況の差を確認出来ます。

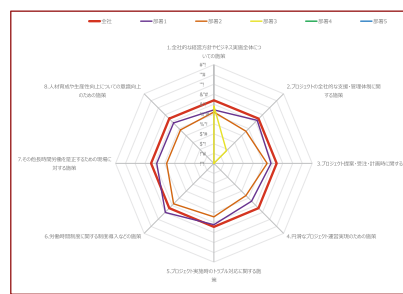
施策分類	施策	企業回答欄
1. 全社的な経営方針や戦略に関する長時間労働対策の明確な位置付け	① 経営方針や戦略としての長時間労働対策の明確な位置付け	5: 積極的である
	② 社長の経営者自らによる、長時間労働削減についてのメッセージ発信	4: やや積極的である
	③ 社長→プログラク(型等)	3: あまり積極的ではない
	④ 顧客・ユーザーごとの見極め、取引先の取捨選択	2: 積極的ではない
	⑤ 利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置	1: 取り組んでいない
	⑥ 良好な取引関係や円滑な業務遂行が期待できる顧客、Ster、パートナー企業などとなる、相互利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置	0: 業務またはビジネス上該当しない
	⑦ 大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・簡素化	5: 積極的である
	⑧ 大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・簡素化	4: やや積極的である
	⑨ 開発するソフトウェアに応じた開発手法(ウォーターフォール/アジャイル等)の選択	

項目表
各施策ごとに自社と比較対象の取組状況の差を確認出来ます。

社内比較

自社内の特定の部署やプロジェクトごとの取組状況を入力することで、長時間労働は正に対する取組への積極度合いを社内でも比較可能です。

※社内でのプロジェクト関連の施策の推進度合いを比較したい場合には、対象のプロジェクトマネージャーに対して、該当するプロジェクト関連施策のみ回答いただく等の方法でご活用いただくことも可能です。



レーダーチャート
8つの要因ごとに全社と部署ごとの取組状況の差を確認出来ます。

施策	全社	部署				
		1	2	3	4	5
① 経営方針や戦略としての長時間労働対策の明確な位置付け	5	3	2			
② 社長の経営者自らによる、長時間労働削減についてのメッセージ発信	4	3	4			
③ 社長→プログラク(型等)	2	5	5			
④ 顧客・ユーザーごとの見極め、取引先の取捨選択	2	2	3			
⑤ 利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置	1	1	2			
⑥ 良好な取引関係や円滑な業務遂行が期待できる顧客、Ster、パートナー企業などとなる、相互利益を調整するための会議体(スタンラングコミティ)の設置	3	4	2			
⑦ 大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・簡素化	0	2	5			
⑧ 大規模プロジェクトにおける管理可能なプロジェクト規模への細分化・簡素化	2	1	2			
⑨ 開発するソフトウェアに応じた開発手法(ウォーターフォール/アジャイル等)の選択	5	5	1			
	4	0	3			

項目表
各施策ごとに全社と部署ごとの取組状況の差を確認出来ます。